

進学之道から就職へ

Aさん（20代・女性）の場合



サポステに来たきっかけを教えてください。

看護学校の再入学試験に落ちて、働かなきゃならない状況にいざなった時に、何をしたらいいのか、どうやって応募活動したらいいのかかわからず、とりあえず半月くらいはハローワークで求人票を見ていました。インターネットやハローワークでサポステを知って、「ここで頑張れば見つかるかもしれない、何かヒントを得られるかも」と思いました。

サポステの印象はどうでしたか？

最初電話で問い合わせた時は、すごく緊張しました。実際に行ってみた時は、すごい前向きな感じがしていて、やっている活動とか、これを頑張っていけば就職にたどり着くというビジョンが見えた…というか見えやすかったです。

参加したプログラムについて教えてください。

個別面談、就サポ、就トレ、ジョブトレ、大人のインターンシップとホンキの就職、コミュUPなど一通り参加しました。気が乗らなくても出ていれば何かしら吸収できるだろうと思っていました。

面談はAさんにとってどんな位置づけでしたか？

溜めやすいし、吐き出せない性格で、親友にも言えず我慢していました。相談員さんが「ここにいる時は想いを吐き出していいから」と言ってくれて気持ちが楽になりました。面談後はすっきりしてまた次頑張ろうと前向きになれました。



印象的、影響を与えたプログラムはありますか？

大人のインターンシップとホンキの就職が一番印象に残っています。介護に興味があったのでデイサービスの仕事を5日間体験しました。現場の所長さんはすごく人生経験が豊富で、「私もどんだの時期を経験して今があるのでAさんも大丈夫だよ」と言われて自信ができました。でも、インターンシップの経験をしたからこそ、介護に限らず、1対1で心理的なサポートが出来る仕事をしたと思うようになりました。

ホンキの就職を受けてみて印象に残っていることは何ですか？

自分のタイプ分析をした時、リーダー資質のあるタイプと出たのですが、リーダーには向いていないと思っていたので驚きました。でも仕事を始めてからそういう面があるかもと感じることはあります。今まで応募活動をしたことがなかったので、興味のある仕事を見つけるのは大変でしたが、最終日に今の職場からアルバイトの内定をもらえたのは嬉しかったです。最初は不安だらけで、1件応募するまでは結構ドキドキでしたが、その後はもう楽に応募が出来ました。



サポステを利用して、就職に役立ったことは何ですか？

礼儀作法、常識的な部分、ビジネスマナー講座が実際の場面で役立っています。挨拶の仕方や電話の掛け方、面接での受け答えとか。ありがとうございます、おはようございます、お先に失礼します、お疲れ様です、の一言が言えるかどうかで信頼度合もずいぶん違うのかなと感じました。面接練習した時はすごく緊張してセリフが飛んでしまったけど、見てた人は態度が凄いいとか、もう少しこうしたらいいとか、正直なアドバイスをもらえたので次はここを頑張ろうと思いました。本番ではもっと緊張しましたが、練習が無かったら結構大変だったと思います。

今の自分と昔の自分の違いは何かありますか？

性格が変わりました。もともとはネガティブ思考で人見知りなんです。昔だったら誰にも相談できなくて、自分の中で消化不良を起こして体調を崩していたと思います。今は、自分ひとりで抱え込んでではダメだということに気づき始めて、すぐに同僚や店長に悩みを話すことができるようになりました。それに、諦めクセも無くなり、根性や忍耐力が付きました。自分が先頭に立って、今全体でどういう状況なのかを見て、みんなが見えていないところを見ていかなきゃというのを実感できるようになり、責任感が人一倍大きくなりました。

働き始めて4ヵ月経ちました。
活気のある職場で働きやすいです。
今はアルバイトなので、社員にステップアップしたいです。
また、お金をやりくりしながら通信大学で臨床心理士の資格を取ろうと思っています。就職活動も一歩踏み出すのは誰しも不安ですが、ハードルを上げるのではなくいったん取っ払って軽い気持ちでサポステへ来てもらえるといいのかなと思います。

